

暮らしBUBの取組

日々の暮らしをおくる居住空間で、さりげないセンシングとフィードバックによる生活習慣の改善を目指す。

東北大学 医工学研究科 教授 永富 良一
株式会社 穴吹ハウジングサービス（主幹企業）



“しあわせ「感」理”
あなぶきハウジングサービス

■ 概要

- 暮らしBUBでは、研究成果や一般のセンサ、システムを組み合わせることで、生活習慣病の改善を目的としたサービスを開発。
- 居住空間にセンサやスマートミラー等の機器を配置し、実生活を通じて取得されたパーソナルデータのフィードバックや専門医等の指導を行うことで、生活習慣の行動変容に対する有効性を検証。



■ 社会実装に向けた企業戦略および成果等

- ファーストステップとして、健康起因による有望人財ロスを防ぎたい健康経営企業向けに、サービスアパートメントを活用したビジネスモデルの開発に取り組んでいる。
- たった28日の短期間でも脂質異常がリセットされる効果が複数確認され、人が“かわる”ことが示された。
- 成功モデルをパッケージングし、民泊、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）、賃貸マンション、分譲マンションなど、さまざまな形態の住宅にヘルスケアサービスとして提供していく。